

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立大川内小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校・家庭・地域が連携して児童の教育に携わることができた。職員・保護者・児童・地域対象の教育に関するアンケート調査においても、それぞれに高い評価を得ることができた。</li> <li>学力向上に向けた指導法の改善を図る必要がある。とくに3年生は、CRT調査で全国の平均値を下回り、4年生も県の学習状況調査で県平均値を下回った。児童の実態を分析し、課題を明らかにした上で授業の質的改善と家庭学習の充実を図っていく必要がある。</li> <li>これまで同様にいじめの未然防止、早期発見、早期解決に努め、いじめのない学校づくりを目指す。</li> <li>働き方改革の視点から、職員一人一人に超過勤務を削減する必要性の意識付けはできてきたが、その実現に向けた具体的な取り組み方の工夫を考える必要がある。</li> </ul>
2 学校教育目標	<p>「笑顔で元気な大川内っ子」の育成</p> <p>～やさしい心で よく考え 行動 自分から～</p>
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の協力を受けながら教育活動を展開し、地域のよさを誇りに思い、地域の「人・もの・こと」と連携し、成長していくことに喜びを感じる児童を育成する。</li> <li>常にすべての児童が、基礎的・基本的な知識及び技能を習得することを意識した学習活動を展開する。また、校内研究を軸に、確かな力を身に付け、主体的に考え、豊かに表現しようとする児童の育成を目指す。</li> <li>家庭や地域、専門機関との連携を図りながら児童の学習面や生活面の様子をしっかりと見取っていく。</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
重点取組			具体的取組		達成度（評価）		実施結果		
評価項目	取組内容	成果指標（数値目標）	達成度（評価）		実施結果		評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学期末にマイプランについて振り返る時間を設定し、意識化を図る。		A	・マイプランの成果指標について、77%の職員が「達成できている」「おおむね達成できている」と自己申告している。	A	・学期末懇談会や個人面談では学力の話題が取り上げられ、授業を分かりやすくしたいという先生方の意欲が伝わってきた。	
	○基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、自分の思いや考えを進んで伝えることのできる力の育成	○国及び県の学習状況調査やCRT検査において、全国や県の平均値を上回ることを目指す。	・日々の授業において、西部型授業を実践したり、対話的活動を工夫したりして、児童の確かな学力の向上を目指す。 ・学習状況調査やCRTの結果を分析し、日々の授業の質的改善点を考える研修を行う。		A	・マイプランの成果指標について、77%の職員が「達成できている」「おおむね達成できている」と自己申告している。 ・県の学力状況調査において、昨年度と比べて、5年生は得点平均が向上している。また、6年生も概ねすべての教科で県平均を上回ることができた。	A	・コロナ禍ということもあり、子どもたちの日頃の学習の様子は見えにくいですが、授業参観などでは、子供たち同士で話し合う場面が見られた。	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○90パーセント以上の児童が、交流をしているときや、交流後に書く感想で、誰もが交流を持った相手に対し、思いやりのある気持ちや相手を敬う気持ちなどを表現することができる。	・縦割り活動を行ったり、特別支援学校との交流を行ったりしながら相手を思いやる気持ちや敬う気持ちを育てる。		A	・縦割り活動「なかよしタイム」では、互いを思いやり楽しく活動できた。 ・支援学校と、自己紹介カードや、季節に応じた掲示物を作成して交換し、お互いのことを知ることができた。居住地交流は、コロナの状況に応じて、直接交流とオンラインでの交流を行った。交流中の児童の様子や事後の感想には、相手を思いやる気持ちが表れていた。	A	・ふれあい道徳の参観で、工夫された道徳の授業が行われていると感じた。	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努める。 ○「学校が楽しい」と答える児童90%以上を目指す。	・月1回の「心のお天気」アンケートや6、10月のアンケート調査で、児童の友人関係や悩み等を把握する。 ・配慮を要する児童等について、連絡会で情報交換の機会を設け、職員の共通理解を図るとともにSC、SSWと情報交換を密にし、連携を図りながら支援する。		A	・日常の観察や定期的アンケートをすることで、未然防止、早期発見、解決ができ、ほぼ全体の児童が学校は、楽しくと回答できた。 ・保護者アンケートでは、「あまりできていない」と家庭での取り組みが12%の中間回答だったが、年度末回答は半分の6%になり、学校と家庭との連携ができていく。	A	・子どもたち一人一人をよく見ていただいていると感じる。何か気になることがあったら、家庭に連絡をもらっている。	
	○元気なあいさつや温かいことばで交流する児童の育成	○「あいさつができてい」と答える児童の割合や地域、保護者の割合も90%以上にする。 ○「言葉づかいに気をつけてい」と答える児童の割合や地域、保護者の割合を90%以上にする。	・場に応じた言葉遣いやあいさつができるように、全職員で日常的に指導する。 ・学級指導や道徳などで、児童の実態に合わせて取り扱い、意識の向上を図り、日常に生かす。		B	・年度末のアンケートで元気なあいさつが「できている」「だいたいできている」と98%の児童が回答した。保護者からは81%、地域の方からは80%の回答を得た。子どもの意識と実態が伴っていないようなので、誰にでも先に「大きな声であいさつするように指導する必要がある。 ・年度末のアンケートで場に応じた言葉遣いが「できている」「だいたいできている」と100%の児童が回答した。地域の方からは96%、保護者からは82%の回答を得た。時折、児童の言葉遣いが荒いところがあるので、真い方について指導していく必要がある。 ・持久走月間や縄跳びをなかよしタイムを併せて実施し、健康な体づくりを促すことができた。また、月目標に外遊びの設定をしたり、昼休みに遊ぶように声掛けしたりできた。	B	・子ども達は大人からの挨拶を無視はしていないが、恥ずかしさもあって、大きな声でのあいさつや返事が減ってきていることもある。大人の方からの声かけを続けたい。 ・児童生徒が学ぶことや働くことの意味を感じられるような取組が行われており、すばらしいと感じた。	
●健康・体づくり	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	・金曜日を定時退勤日とし、定時退勤を推進する。 ・平日は、19時をめやすとし、また、月45時間以上の超過勤務がないように呼びかける。		B	・アンケートで業務の効率化を意識し、また時間外勤務の削減を目指し取り組むことができて、「だいたいできている」と回答した職員が92%だった。中間評価時よりは、職員の意識が高まっているが、まだまだ、改善が必要。	B	・先生の元気がないと子供たちも不安を感じる。休めるときは休んでほしい。	
	○安全に関する資質・能力の育成	○児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	①持久走月間、縄跳び等の取組等を通じ、運動することの素晴らしさを実感させ、運動を促すようにする。 ②③食育月間中、4年生以上を対象にチェック表を活用し、保護者と連携して取り組む。 ③栄養教諭と連携して、低中学年を対象に食育の授業を実施する。 ③保健だより等、年間を通した心身の健康づくりを呼びかける。 ④地域の見守り隊との連携を図りながら、通学路の安全点検及び安全指導を実施する。		A	・持久走月間や縄跳びをなかよしタイムを併せて実施し、健康な体づくりを促すことができた。また、月目標に外遊びの設定をしたり、昼休みに遊ぶように声掛けしたりできた。 ・2月のアンケートで朝食を「食べている」「だいたい食べている」と97%の児童が回答した。 ・保健だより等を配布しながら、身体や心身の健康についての事項を記載し、年間を通した心身の健康づくりを呼びかけることができた。	A	・保健だよりで食事の大切さや歯みがきの大切さについてお知らせをしてくれていた。継続してほしい。 ・食育については、家庭も一緒になって取り組みたい。	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○体を動かすことを好む児童の育成	○アンケートで「外で遊んだり、運動したりするのが好き」と答える児童90%以上を目指す。	・体育科の授業やなかよしタイム(縦割り活動)を通して運動に親しみながら、体力の向上を図る。		A	・なかよしタイムで長縄に取り組んだり、縄跳び月間を仕組んだりして、健康な体づくりを呼びかけることができた。 ・アンケートで外で遊んだり、運動したりするのが「好き」「まあまあ好き」と87%の児童が回答した。	A	・外で遊ぶ姿をたくさん見かける。持久走大会等で、必死に頑張る子供の姿や熱心に声掛け留守先生方の姿を見かけた。	
	○会議や事務の効率化	○会議の超過時間を0を目指す。 ○誰もが手軽に必要な文書や授業の教材等を、校務サーバーから取り出せると感じられるように整理する。	・資料の事前配付と、資料を読んだからの参加を徹底したり、会議の開始、終了時刻を厳守したりする。 ・校務分掌や教材研究等に対する時間削減のために、文書や授業の教材等を校務サーバーに保存し、有効活用する。		B	・職員会議は、引き続き、超過時間を実行することができている。 ・年度末にも校務サーバーのデータ整理を行い、来年度の有効活用につなげる。 ・個々の働き方改革の意識向上を図る。月毎の超過勤務45時間以内の人数が増えるように取り組みを行う必要がある。	B	・先生方の働き方改革や努力が保護者や地域には伝わってこない。	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
重点取組			具体的取組		達成度（評価）		実施結果		
評価項目	重点取組内容	成果指標（数値目標）	達成度（評価）		実施結果		評価		意見や提言
◎志を高める教育	◎地域の「人・もの・こと」とふれあい、そのよさを感じ、地域を大事にする心を育む教育活動	◎地域の「人・もの・こと」に愛着を持ち、大切にしていきたいと感じる児童を90%以上に上げる。	・田んぼの学校、各学年の発達に応じたふだんと学習、見守り隊の方とのふれあい等のよさに気づかせ、感謝の気持ちを育む。		A	・友会との連携で特別企画の行事も実施することができた。地域の方々が参加してくださった。 ・地域を大切にしていきたいと思う、「まあまあ思う」と100%の児童が回答した。	A	・登下校時の見守り隊の活動や「田んぼの学校」、「お小箱」等での関わりは、子どもたちが大人になってから引き継いでくれることと期待している。このような活動が続いていくことで地域を愛する心が育まれていくと思う。	
○特別支援教育の充実	○特別な配慮を要する児童に対する個別の支援計画に基づいた支援	○職員会議や職員研修等で、特別な配慮を要する児童について共通理解を踏るとともに、専門家の話を通して理解を深める。	・特別な配慮を要する児童をリストアップし、丁寧な見取りを行う。 ・夏休期中に専門家を招聘しての研修を行い、個別の支援計画について見直しを行う。		A	・特別な配慮を要する児童に対して、常に共通理解を図ったり、関係機関との連携や専門家の話を聴いたりして適切な指導に努めた。約85%が「よくできる」「だいたいできている」としている。 ・個別の支援計画や指導計画の研修を深め、もっと指導に力が必要である。	A	・個別のケースに複数の先生方に対応されているという話を聞く。	
○危機管理の強化	○情報モラルの指導	○情報モラルについて、インターネット上の危険やSNSの適切な使い方を十分に理解できている児童を95%以上に上げる。	・アンケートを実施し、児童のインターネット機器や環境についての実態を把握する。その結果を基に指導内容の精選を行い、学期に1回以上指導を実施する。		A	・本年度、児童の交通事故は0だった。地域の見守り隊の協力が大きい。 ・年度末のアンケートでSNSのマナーを守っている、「だいたい守っている」と98%の児童が回答した。3月にも情報モラルについて全校や各学級で話し、児童はインターネットマナーについて考えた。	A	・登下校中の見守り隊の協力はとても大きいと思う。 ・SNSによるトラブルがあると聞くので実態を把握し、指導を続けてほしい。	

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育	<p>5 総合評価・次年度への展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校・家庭・地域が連携して児童の教育に携わることができた。職員・保護者・児童・地域対象の教育に関するアンケート調査においても、それぞれに高い評価を得ることができた。</li> <li>引き続き、学力向上に向けた指導法の改善を図る必要がある。5年生は県の学習状況調査で県平均値を上回ることができなかったが、昨年度よりは得点平均が上がっている。児童の実態を分析し、課題を明らかにした上で指導法の改善を図っていく必要がある。</li> <li>これまで同様にいじめの未然防止、早期発見、早期解決にチームで取り組んでいく。</li> <li>働き方改革の視点から、職員一人一人に超過勤務を削減する必要性の意識付けはできてきたが、その実現に向けた具体的な取り組み方の工夫を考える必要がある。</li> </ul>
------------------------------	--